

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	青少年消防体験入隊事業	所管	消防本部 予防課
			TEL 2929-9121

事業の目的 (何の為に 行うか)	火災・救急等の災害に対する予防と応急処置を学習すると共に、命の大切さを学び助け合いの心を育成することを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内に在住又は在学する小学校5、6年生	対象とした数	6,038	人
		実際に 利用した数	140	人

活動の内容	(何を したか)	1 市内の小学校に開催案内を送付すると共に広報ところざわ及びホームページに掲載し参加者を募集する。 2 市内の消防署、分署で申し込みの受付を行い、定員になり次第受付を終了する。 3 中央消防署で消火訓練、救助訓練、応急処置訓練、煙体験、地震体験車等を体験する。(1日コースを2日実施する。) 4 参加者に感想文を作成してもらう。 5 参加者に修了証を交付する。													
		活動実績	項目名	青少年消防体験入隊の実施回数	2	単位	回	項目名	青少年消防体験入隊の参加者	140	単位	人	項目名	感想文の提出者	140

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	136	136	9,154	27.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率		
	防火・防災・救急・相互扶助についての意識向上率	意識が高まったと答えた人数/参加者数 *成果指標変更	単位	人	単位	人	単位

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100200	TEL	2929-9121
事業コード	少年少女消防体験入隊事業		消防本部 予防課			
100201	開始年度 平成 2 年度 一 終了年度 平成 年度					

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	なし							
	関連・類似事業	防火安全協会補助金(予防課)							
	総計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	2 火災の予防	小柱	(1)住宅防火の推進
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位									
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード 3621 事務改善活動等の充実・強化									
事業開始の背景 消防署の業務を体験することで火の怖さや災害時の対処方法を学ぶと共に、規律、協調性、自主性を養い、夏休みの良い思い出となるように開始された。									

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)										
	火災・救急等の災害に対する予防と応急処置を学習すると共に、命の大切さを学び助け合いの心を育成することを目的とする。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方					
	市内に在住又は在学する小学校5、6年生					参加した児童数					
対象数		単位		平成 18 年度	6,090	人	平成 18 年度	156	人		
				平成 19 年度	6,038	人	平成 19 年度	140	人		
事業の具体的な内容及び実施方法											
1 市内の小中学校に開催案内を送付すると共に広報とこざわ及びホームページに掲載し参加者を募集する。 2 市内の消防署、分署で申し込みの受付を行い、定員になり次第受付を終了する。 3 中央消防署で消火訓練、救助訓練、応急処置訓練、煙体験、地震体験車等を体験する。(1日コースを2日実施する。) 4 参加者に感想文を作成してもらう。 5 参加者に修了証を交付する。											

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>										
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())										
	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)										
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了										
平成19年度中に改善した点											
参加者の充実感を高めると共に事故防止の徹底を図るため、訓練場所を班別に区分することで移動時間を短縮し、訓練時間の効率化や休憩時間を確保した。											

⑤経費	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			115	136	73
	決算(見込み含む)			114	136	
	(嘱託職員)(臨時職員)		(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費			0.87 人 8,004	0.96 人 9,018	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計			8,118	9,154	
	財源内訳		一般財源	8,118	9,154	73
			国・県支出金			
			受益者負担金			
		市債				
		その他				
市民一人当たり(単位:円)			24.0	27.0		
利用数一単位あたり(単位:円)			52,038.5	65,387.4		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	少年少女体験入隊の実施回数	少年少女体験入隊の実施回数	回	2	2	2	
		少年少女体験入隊の参加者	少年少女体験入隊に参加した人数	人	156	140	160	
		感想文の提出者	感想文を提出した人数	人	156	140	160	
成果分析	防火・防災・救急・相互扶助についての意識向上率	意識が高まったと答えた人数/参加者数 *成果指標変更	人	目標値				
			%	実績			実績値の拡大を図る1	
			%	達成率			実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	見直しの必要性
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題 18年度から当日に感想文を作成してもらうことにより参加者全員から感想が得られたものの、事業の目的である「災害に対する予防と応急処置を学習すると共に、命の大切さを学び助け合いの心を育成する」ことを感想文のみで把握することは困難であることから、平成20年度から訓練等の学習効果を確認するためにアンケートを加えることとする。					
今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	募集人数に達する申込者数を募る。	2日間で160人		平成20年7月	
	訓練等を体験することでより多くの児童に防火思想、相互扶助の心を育成する。	参加した児童数の9割以上		平成20年7月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
成長著しい小学校5、6年生を対象に少年少女体験入隊を実施することは、参加した児童の健全な防火思想の育成にも重要な役割を果たしている。この事業を通じて一人でも多くの児童に命の尊さと助け合いの心を学んでもらうためにも、慣例となっているプログラムの見直しや感想文の成果分析方法の変更等、一層の改善、効率化を図りながら事業を推進していく必要がある。					
評価日		平成20年5月7日	記入者職氏名 予防課長 木下 雅孝		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画		環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
実施の体系		実施の方向					
◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	3272		
基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります						
主要課題	2子育てに快適な環境づくり						
施策の方向	7安心して暮らせる環境の整備						